（１０）技能者名簿の記入例

様式第５号

（用紙Ａ４）

年　　月　　日

申請者名

審査基準日以前において認定能力評価基準により評価を受けている場合、その最も新しい評価を受けた日を記入

技能者名簿

通番	氏名	生年月日	評価日	レベル向上の有無	控除対象
合計	（人）			（人）	（人）

・6か月を超える恒常的な雇用関係がある者に限る。
・技術職員名簿に記載のある技能者から、技術職員名簿順に記載する。
・通番は技術職員名簿と一致させる。
・技術職員名簿の最終番号の続きから通番を付与する。

・審査基準日以前3年前の日以前の評価から、１以上レベルアップした場合に「〇」を付す
※1以上レベルアップとして評価の対象となるのは、レベル2以上の評価を受けてからとなる。

審査基準日の3年前の日以前に能力評価基準により受けた評価が最上位の区分（レベル4）に該当するとき「〇」を付す

項番50の「技能者数」と一致する

項番５０の「技能レベル向上者数」と一致する

項番５０の「控除対象者数」と一致する

記載要領

1　この表は、審査基準日における許可を受けた建設業に従事する職員のうち、審査基準日以前三年間に、建設工事の施工に従事した者であって、建設業法施行規則第十四条の二第二号チ又は同条第四号チに規定に該当する者（ただし、建設工事の施工の管理のみに従事した者は除く。）について作成す

2　「評価日」の欄には、技能者が審査基準日以前において認定能力評価基準により評価を受けている場合、その最も新しい評価を受けた日を記載すること。

3　「レベル向上の有無」の欄には、審査基準日以前三年間に、能力評価基準により受けた評価の区分が、審査基準日の三年前の日以前に受けた最新の評価の区分より１以上上位であった者に該当する場合に、〇印を記載すること。

4　「控除対象」の欄には、審査基準日の３年前の日以前に能力評価基準により評価が最上位の区分に該当するとされた者の場合に、〇印を記載すること。

5　本表の最後の行には、作成対象となる技能者、「レベル向上の有無」の欄に〇印が記載された者、「控除対象」の欄に〇印が記載された者、それぞれの合計人数を記載すること。